

作成年月日	平成 27 年 2 月 23 日
作成部局 課室名	農政環境部農政企画局 総合農政課

## 「ひょうごみどり白書 2014」の発行

### 1 趣旨

「ひょうご農林水産ビジョン」の実現に向けた施策の推進状況について、毎年度、点検・評価を行い、その結果を広く県民に情報提供することを目的として、「ひょうごみどり白書」を作成している。

この度、平成 25 年度施策の点検・評価結果に、平成 26 年度の主な施策・事業の取組状況を加えとりまとめたので、「ひょうごみどり白書 2014」として発行する。

### 2 内容

#### 第 1 章 トピックス —「農」をめぐる最近の情勢—

平成 26 年度(2014 年度)に取り組んでいる主な施策や事業などについて紹介する。

- ① 平成 26 年 8 月豪雨による被災施設の早期復旧を推進
- ② 神戸ビーフの EU、イスラム圏への輸出など、ひょうごの農畜水産物の輸出が拡大
- ③ 「農」イノベーションひょうごによる異業種連携の推進
- ④ 中山間地における新たな農業モデルを推進～養父市国家戦略特区がスタート～
- ⑤ ストップ・ザ・獣害～住民主体の捕獲の取組～
- ⑥ 担い手への農地の集積・集約化を推進～農地中間管理事業の展開～
- ⑦ 兵庫県産山田錦増産プロジェクトの本格始動～「兵庫県産山田錦」の生産が拡大～
- ⑧ 国際化に対応した新たな農業ビジネスモデルの構築～次世代施設園芸モデル団地の整備～
- ⑨ 「ひょうごの強み」を生かした野菜生産の拡大～野菜増産プロジェクトを推進～
- ⑩ 地域資源を生かした特産品づくりが進展～ひょうご元気な「農」創造事業の展開～
- ⑪ 但馬牛・神戸ビーフの生産性を向上～受精卵移植による子牛の増産と増体性の向上～
- ⑫ 建築からエネルギーまで品質に応じた森林資源の多段階利用
- ⑬ 豊かな瀬戸内海の再生に向けて前進～「瀬戸内海環境保全特別措置法」の改正に向けて～
- ⑭ 農業・農村の多面的機能と減災への貢献～貯める流域対策としてのため池、水田の活用～
- ⑮ 新たな水産物販売ルートとしての漁港の活用～人が賑わう漁港の推進～
- ⑯ 第 17 回全国農業担い手サミット in ひょうご の開催
- ⑰ ひょうごの「農」の元気な活動（表彰事例の紹介）

#### 第 2 章 ひょうごの農林水産施策の取組—施策の目標と評価—

平成 25 年度(2013 年度)における施策について、施策体系に沿って整理し、取組の状況や施策目標に対する評価、今後の課題をとりまとめた。

### 3 発行

#### (1) 冊子の体裁

A 4 版、約 130 ページ

#### (2) 発行部数

500 部(主な配布先:農林水産業関係団体、消費者団体、各市町)

県民向けには、PDF 版を県ホームページに掲示します。

<問い合わせ先> 農政環境部 総合農政課 農林水産政策班  
TEL 078-362-9193

# 農林水産政策白書「ひょうごみどり白書2014」の概要

## 第2章 ひょうごの農林水産施策の取組 — 施策の目標と評価 —

### はじめに

- 1 ビジョン2020の概要(P2-4)  
めざす姿と施策の基本方向、体系図を掲載
- 2 農林水産業の概要(P5-8)  
生産量や食料自給率等の統計データから、本県の農林水産業の現状や特徴を掲載

### 第1章 トピックス — 農をめぐる最新の情勢 —

- 最近の「農」をめぐる主なトピックスを掲載(P10-29)
- ① 平成26年8月豪雨による被災施設の早期復旧を推進
  - ② 神戸ビーフのEU、イスラム圏への輸出など、ひょうごの農畜水産物の輸出が拡大
  - ③ 「農」イノベーションひょうごによる異業種連携の推進
  - ④ 中山間地における新たな農業モデルを推進～養父市国家戦略特区がスタート～
  - ⑤ ストップ・ザ・獣害～住民主体の捕獲の取組～
  - ⑥ 担い手への農地の集積・集約化を推進～農地中間管理事業の展開～
  - ⑦ 兵庫県産山田錦増産プロジェクトの本格始動～「兵庫県産山田錦」の生産が拡大～
  - ⑧ 国際化に対応した新たな農業ビジネスモデルの構築～次世代施設園芸モデル団地の整備～
  - ⑨ 「ひょうごの強み」を生かした野菜生産の拡大～野菜増産プロジェクトを推進～
  - ⑩ 地域資源を生かした特産品づくりが進展～ひょうご元気な「農」創造事業の展開～
  - ⑪ 但馬牛・神戸ビーフの生産性を向上～受精卵移植による子牛の増産と増体性の向上～
  - ⑫ 建築からエネルギーまで品質に応じた森林資源の多段階利用
  - ⑬ 豊かな瀬戸内海の再生に向けて前進～「瀬戸内海環境保全特別措置法」の改正に向けて～
  - ⑭ 農業・農村の多面的機能と減災への貢献～貯める流域対策としてのため池、水田の活用～
  - ⑮ 新たな水産物販売ルートとしての漁港の活用～人が賑わう漁港の推進～
  - ⑯ 第17回全国農業担い手サミット in ひょうご の開催
  - ⑰ ひょうごの「農」の元気な活動 (表彰事例の紹介)

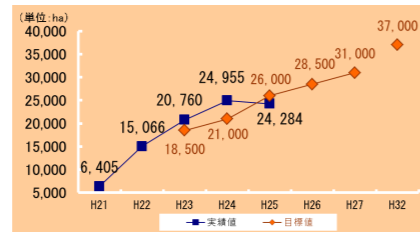
### 第2章 ひょうごの農林水産施策の取組 — 施策の目標と評価 —

#### 基本方向1 「農」が先導する食の安全安心と地域環境の保全

##### 施策項目4 環境創造型農業の推進(P38)

化学合成肥料・農薬低減技術等のマニュアル化や栽培技術研修会の開催、環境創造型農業推進フォーラム等による消費者理解の促進に努めたが、病害虫の発生に対する臨機防除により、実績面積は減少

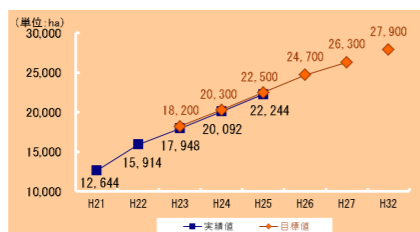
■指標8：環境創造型農業の生産面積



##### 施策項目6 災害に強い森づくり整備実施面積(P42)

第2期対策により、山地災害危険溪流における、流木・土石流の被害を軽減する災害緩衝林の整備や、地域住民等による自発的な取り組みが増加

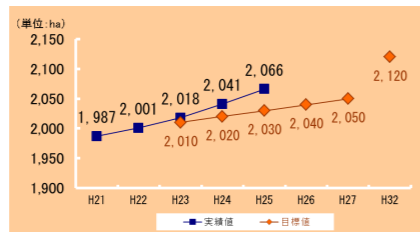
■指標16：災害に強い森づくり整備実施面積



##### 施策項目7 海域環境の保全回復(P44)

適地において藻場の造成を進めるとともに、海底耕うんや二枚貝の放流、ため池からの放水等により、干潟や浅場の海域環境の保全回復を推進しており、藻場面積は順調に増加

■指標17：藻場面積

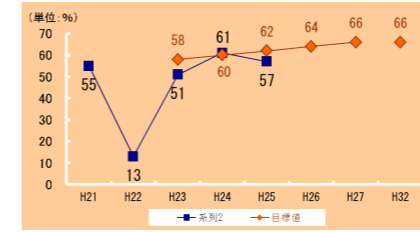


#### 基本方向2 産業としての力強い農林水産業の再生

##### 施策項目8 山田錦等酒米の安定生産と需要拡大(P46)

需要の増加に対応した生産拡大に努めるとともに、温暖化の影響等による品質低下を防ぐため、生育環境や気象条件等に応じた高品質米の生産指導に努め、上位等級比率は一定水準を確保

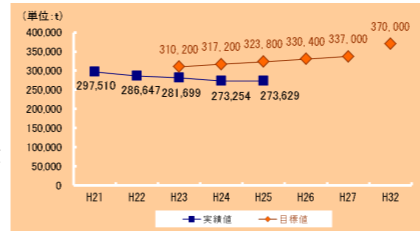
■指標26：山田錦等酒米の上位等級比率



##### 県産野菜の安定供給と生産拡大(P47)

指定産地の育成や直売所に出荷する定年帰農者等の組織化、市場出荷や量販店等との契約栽培などをめざす新たな産地づくり、加工・業務用野菜への作付転換等を誘導したが、兼業農家を中心とした作付休止が進行し、生産量は減少

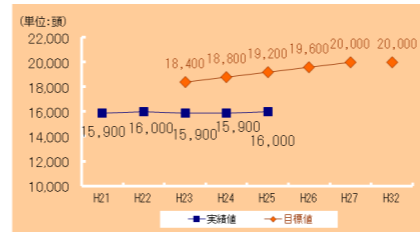
■指標23：野菜の生産量



##### 施策項目9 但馬牛ブランド力の強化(P51)

神戸ビーフの生産力を強化するため、繁殖雌牛を20,000頭に増頭することを目標に対策を総合的に推進しているが、高齢化による小規模繁殖農家の廃業により、頭数は横ばい

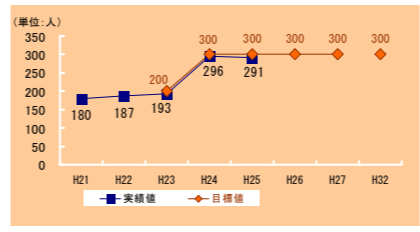
■指標29：但馬牛繁殖雌牛頭数



##### 施策項目11 新規就農者数(P58)

就農支援センターによる就農相談やセミナーの開催、農地・住宅等の情報提供のほか、きめ細かな支援に努め、青年就農給付金の給付制度の促進と合いまって、ほぼ目標を達成

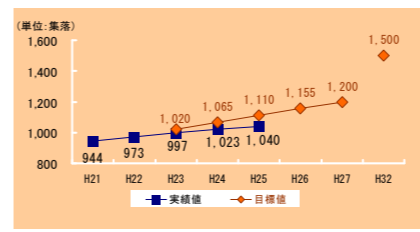
■指標41：新規就農者数(60才未満)



##### 集落営農の組織化(P58)

集落営農有成員による相談活動のほか、集落営農活性化塾の開催等を行っているが高齢化やリーダーの不在等により、組織化された集落数の伸びは鈍化

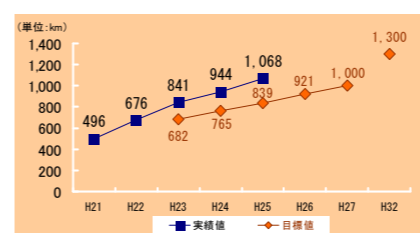
■指標40：集落営農組織化集落数



##### 施策項目13 効率的な原木生産体制の強化(P63)

ひょうご林内路網1,000kmプランに基づき、低コスト原木供給団地内の路網密度100m/haを目標とした作業道の整備等を積極的に実施した結果、団地設定、林内路網ともに計画年度を前倒して達成

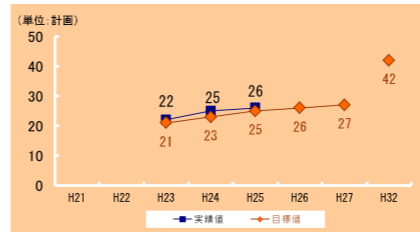
■指標48：林内路網延長(団地内)



##### 施策項目14 資源管理計画策定数(P68)

漁業者や漁業組合などが自主的に資源管理を進めるための計画は、新たに由良町漁協で策定され目標を上回る進捗で推移

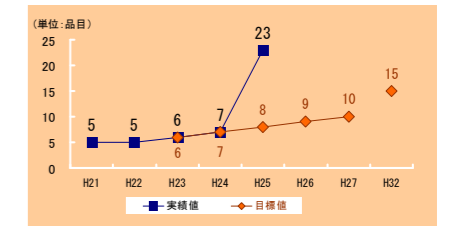
■指標55：資源管理計画策定数



##### 施策項目15 農林水産物・加工品の輸出促進(P72)

展示会やバイヤーとの商談会等様々な輸出機会の創出を図り、農林水産物ブランド戦略を策定した明石鯛など16品目を新たに輸出開始

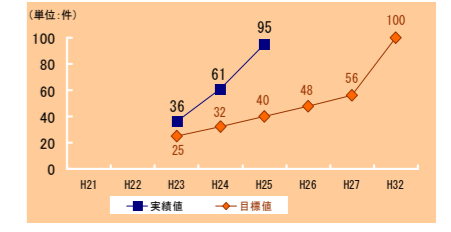
■指標61：輸出品目数



##### 6次産業化の推進(P74)

農林漁業者等からの相談対応、専門家の派遣等による計画の構想段階から認定後のフォローアップまでの総合的支援を実施した結果、六次産業化法に基づく事業認定件数は急増

■指標62：六次産業化法認定件数等

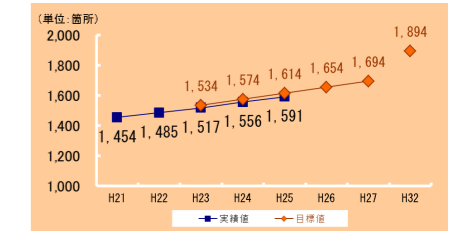


#### 基本方向3 「農」を礎とする魅力ある農山漁村づくり

##### 施策項目20 農村地域の防災対策(P82)

日常管理に加え、地域ぐるみによるため池安全点検の推進や、県単独緊急ため池整備事業を活用し、緊急性の高い箇所部分改修等を進めた結果、改修事業に着手したため池数は増加

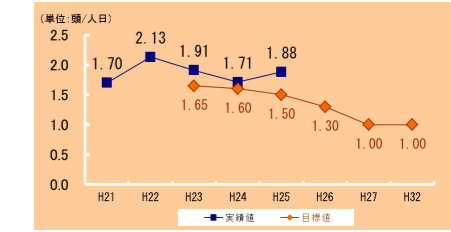
■指標75：改修事業に着手したため池数



##### 施策項目21 シカ捕獲対策の推進(P85)

狩猟期間の延長、捕獲報償金の支給等の狩猟・駆除を強化するとともに約39千頭のシカを捕獲し、農業被害は軽減したが、生息地の拡大等もあり目撃効率は上昇

■指標80：シカ目撃効率

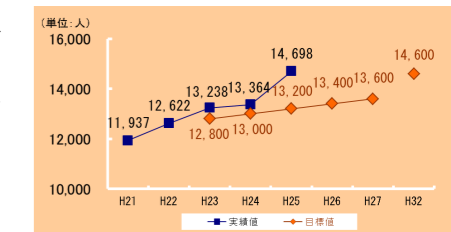


#### 基本方向4 「農」に親しむ楽農生活の推進

##### 施策項目23 農山漁村ボランティアの拡大(P89)

民間企業等による社会貢献活動の取組促進や森林ボランティア団体の育成に取り組み、ボランティア参加者数は大幅に増加

■点検指標87：農山漁村ボランティア数



### むすび

#### 【施策評価の総括】(P91-95)

平成25年度実績評価可能な点検指標(85項目)のうち、約8割(69項目)の指標が年度目標を達成「◎：100%以上」または概ね達成「○：90%以上」していることから、ビジョンの目標達成に向けて概ね順調に進んでいるものと考えている。

#### 〔点検指標評価総括表〕

基本方向/達成状況	◎	○	△	▲	指標数	達成状況
基本方向1	6	7	4	1	18	72%(13指標/18指標)
基本方向2	28	14	5	3	50	84%(42指標/50指標)
基本方向3	5	4	1	2	12	75%(9指標/12指標)
基本方向4	3	2	0	0	5	100%(5指標/5指標)
施策全体	42	27	10	6	85	81%(69指標/85指標)

(評価基準 達成率100%以上→◎ 達成率90～100%→○ 達成率80～90%→△ 達成率80%未満→▲)